

指揮者水野克彦と

三つの合唱団による合同演奏会

東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー

渋谷混声合唱団

三菱東京UFJ銀行合唱団

F:メンデルスゾーン

オラトリオ

エリヤ

〔日本語字幕付〕

2012

9.1[±]

13:00開演 (12:15開場)

サントリーホール

A席: ¥4,000 B席: ¥3,500 P席: ¥3,000 (全席指定)
チケットぴあ: 0570-02-9999 (Pコード: 172-795)

指揮: 水野克彦

ソプラノ: 佐竹由美 / 星川美保子 | アルト: 向野由美子 / 谷地敏晶子

テナー: 望月哲也 / 藤井雄介 | バス: 青山 貴 / 白岩 洵 / 森野光生

オーケストラ: 東京バツハ・カンタータ・アンサンブル

合唱: 東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー / 渋谷混声合唱団 / 三菱東京UFJ銀行合唱団

Felix Mendelssohn Bartholdy

ELIAS



水野克彦
Katsuhiko Mizuno
Conductor

東京藝術大学卒業。クラリネット専攻。在学中は藝大バッハ・カンタータ・クラブに在籍し、小林道夫氏の薫陶のもとにバッハの教会音楽作品を研究した。卒業後はクラリネット奏者としてオーケストラ、室内楽等の演奏に携わったが、しだいに十代の頃から親しんできた合唱音楽や教会音楽に傾倒するようになり、ピアノ伴奏者および通奏低音奏者としてこの分野に参加することが多くなった。現在は指揮者としてアマチュア合唱団の指導に力を注ぎ、オルガン演奏もライフワークとして取り組んでいる。日本オルガニスト協会会員。日本オルガン研究会会員。



佐竹由美
Naomi Satake
Soprano

東京藝術大学首席卒業。同大大学院博士課程修了、博士号を取得。第53回日本音楽コンクール第2位、福沢賞受賞。ノバラ市国際音楽コンクール(伊)第2位、カルロ・ゴメス賞受賞。第8回バハ国際コンクール(独)第4位入賞。確かな技術に裏打ちされた透明感溢れる美声と洗練された歌唱は、殊に宗教作品で高い評価を得ている。また現代作品でも作曲家諸氏から絶大なる信頼を得ており、数多くの初演にも携わっている。オペラでも二期会、日生劇場などにおいて主要キャストとして活躍し、公演の成功に大きく寄与している。99年よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞を受賞。二期会会員。



星川美保子
Mihoko Hoshikawa
Soprano

東京藝術大学卒業、同大大学院、及び二期会オペラ研修所マスタークラス第46期修了。2003年よりライプツヒに留学。帰国後の2005年二期会『魔笛』パミーナへの抜擢で一躍脚光を浴び、続く10月鈴木雅明指揮『ジュリアス・シーザー』クレオパトラで絶賛を博す。更に2008年には日生劇場『魔笛』パミーナでも優れた演唱で高い評価を得た。コンサートにおいては、透明度の高い美声で宗教曲を得意としており、藝大在学中小林道夫氏のもとで研鑽を積み、バハを数多く演奏している。また、16世紀のイタリアンマドリガーレを中心に演奏している声楽アンサンブル「La Fonteverde」メンバーとしても活躍中。二期会会員。



向野由美子
Yumiko Kohno
Mezzo-Soprano

東京藝術大学卒業、同大大学院修了。バハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」、ヴェルディ「レクイエム」や多数のバハ・カンタータのソリストを務める。オペラでは『コシ・ファン・トゥッテ』ドラペッラ、『こうもり』オルロフスキー、『ナブッコ』フェネーナ、『カルメン』カルメン、新国立小劇場『オペラの稽古』伯爵夫人等を演じる。2005年、『ラ・チェネントラ』ティスベ役で藤原歌劇団デビュー後、『蝶々夫人』スズキ、『フィガロの結婚』ケルビーノ等出演。藤原歌劇団団員。



谷地畝晶子
Shoko Yachiune
Alto

岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科独唱科修了。現在同大学院博士後課程に在学中。第16回日仏声楽コンクール第1位。第57回藝大メサイア、第28回台東区第九、第349回藝大合唱定期ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」のアルトソロ、第54回藝大定期オペラ『ファルスタッフ』クイックリー夫人を務める。また、バハクリスマス・オラトリオ、モーツァルト「レクイエム」、メンデルスゾーン「エリヤ」等においてアルトソリストで出演している。声楽を佐々木まり子、佐々木正利、磯貝静江、朝倉蒼生、伊原直子、寺谷千枝子の各氏に師事。



望月哲也
Tetsuya Mochizuki
Tenor

東京藝術大学卒業、同大大学院オペラ科修了後、渡境。ウィーン国立音楽大学研修課程リート・オラトリオ科にて研鑽を積む。早くからその美声は注目され活躍。二期会・ハンブルグ国立歌劇場共同制作『皇帝テイトの慈悲』(P. コンヴェチニ一演出) 標榜役では国際的評価を得、最近では『カプリッチョ』フランコ、『ラ・ボエーム』ロドルフォなども好評を博した。宗教曲の分野でも高い評価を得ており、サヴァリッシュ指揮N響シユベルト「ミサ曲」、アシュケナージ指揮同定期モーツァルト「レクイエム」等に出演。また王子ホールでのリサイタルシリーズ「Wanderer」でも絶賛を博している。二期会会員。



藤井雄介
Yusuke Fujii
Tenor

大分県出身。14歳より声楽を始める。広島大学教育学部音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大大学院音楽研究科修士課程および博士後課程修了。声楽を外川香奈子、オルガ・フルラ＝コロ、奥田誠、枝川一也、鈴木寛一、寺谷千枝子、ブライアン・パーソンの各氏に師事。これまで、バハ「ヨハネ受難曲」の福音史家、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「交響曲第九番」など、主に宗教的声楽作品のソリストを多数務める。バハ・コレギウム・ジャパン、Gamut Bach Ensemble 声楽メンバー。



青山 貴
Takashi Aoyama
Baritone

東京藝術大学卒業。同大大学院、二期会オペラスタジオマスタークラス修了。新国立劇場オペラ研修所第4期修了後、渡伊。第6回カルロス・ゴメス国際コンクール(伊) 第1位入賞。早くからその才能は高く評価され、新国立劇場等数々のオペラに出演。最近では本年2月東京二期会『ナブッコ』に主演し、絶賛されたことが記憶に新しい。コンサートでも主要オーケストラと共演しており、昨年はC. デュワ指揮N響「千人の交響曲」で好評を博した。本年は初の本格的なリサイタルとなる東京オペラシティ「B→C」にも出演。第19回(平成20年度)五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。二期会会員。



白岩 洵
Jun Shiraiwa
Bass

自由の森学園、東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。声楽を大島博、高中文二、福島明也、長町順史の各氏に師事。在学中は藝大バハ・カンタータ・クラブに在籍し、小林道夫氏から薫陶を受ける。オペラではモーツァルトの作品を多くレパートリーとしている。日本モーツァルト音楽コンクール入選。現在、第56期二期会オペラ研修所マスタークラスに在籍。洗足学園音楽大学補助演奏員。サントリーホールオペラ・アカデミー、「音風」メンバー。



森野光生
Mitsuo Morino
Baritone

明治学院大学卒業。在学中、グリークラブ(混声)に所属。卒業後もアマチュア合唱団に所属し、宗教合唱音楽の研鑽を積むと同時に声楽のレッスンを始める。1979年頃よりソロ活動を始め、これまでにバハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「クリスマス・オラトリオ」「口短調ミサ」、ヘンデル「メサイア」、ハイドン「天地創造」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」「莊嚴ミサ」等主に宗教曲のソリストとして多くの合唱団、オーケストラと共演している。バハ協会管弦楽団・合唱団専属ソリスト、東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー所属、聖学院メサイア合唱団団長。声楽を芳野晴夫氏に師事。学校法人聖学院管理局総務部長。

東京バハ・カンタータ・アンサンブル Orchestra

東京藝術大学の学内サークルとして活動を行っている「藝大バハ・カンタータ・クラブ」のOB、OGを中心に1977年に発足。メンバーは各自がソリスト、室内楽、オーケストラなど各方面で活動しているため、多少流動的ながら、活動開始から既に30数年を経ており、バハやヘンデル等のバロックからハイドン、モーツァルトの古典、最近ではメンデルスゾーン、ブラームス、ドヴォルザーク等のロマン派、更にはフォーレ、プーランク、デュリュフレ、ベルトといった近代、現代のものまでレパートリーを広げている。その演奏はいずれも各様式に則った生き生きとしたもので、共演した各合唱団、指揮者から、高い評価を得ている。公式ホームページ: <http://www.tokio-bach-kantaten-ensemble.com/>

F. メンデルスゾーン (1809年～1847年)
麗麗な旋律で知られるドイツ・ロマン派の作曲家。バハを研究し、没後忘れられていたバハを復活させたことでも有名。

オラトリオ「エリヤ」

ヘンデルの「メサイア」、ハイドンの「天地創造」とともに三大オラトリオ(宗教的交響曲)と言われる。旧約聖書に題材をとり、預言者エリヤが異教徒との苦しい戦いを勝ち抜き、最期は火の車で天にあげられるまでの物語。

東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー

当アカデミーの源流は、「明治学院大学グリークラブ」です。グリークラブは名誉指揮者池宮英才氏の指揮により1963年から28年間に渉り、バハ「クリスマス・オラトリオ」を演奏して来ました。その後1997年6月、グリークラブのOB・OGにより「明治学院クリスマス・オラトリオ合唱団」を結成し、ほぼ毎年12月にクリスマス・オラトリオを演奏してまいりました。

2000年にはバハ没後250年を記念してドイツ・ブレーメンでブレーメン・ドーム・コルとジョイントでクリスマス・オラトリオ演奏会を開催しました。2003年より水野克彦先生を指揮者としてお迎えし、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「莊嚴ミサ曲」、バハ「マゴニフィカト」「マタイ受難曲」、モーツァルト「レクイエム」等を演奏し好評を得ました。2003年に名称を「東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー」に改称し、広く一般の宗教音楽愛好家にもご参加いただけるよう体制を改め、現在は約半数がグリークラブ以外のメンバーです。

●次回公演—2014年1月26日(日)
J.S.バハ「ヨハネ受難曲」
<http://www.christmas-academy.com/>

渋谷混声合唱団

渋谷混声合唱団は1985年4月に「渋谷区民音楽のついで〜第九を歌う会〜」の有志により創設された市民合唱団です。

2000年1月に指揮及び指導者として水野克彦先生を、ピアニストとして船澤めぐみ先生をお迎えしました。そして両先生の熱意あるご指導のもと、混声合唱の技能を磨いて水準の高い音楽性を求めようと毎週土曜日午後には渋谷区内の会場で練習を重ねて今日に至っています。

毎年、東京オペラシティ コンサートホール：タケミツメモリアルホールを舞台に、モーツァルト、バハ、ヘンデル、ハイドンの宗教曲を10年間にわたって歌い継いできました。昨年は渋谷区から文化芸術団体としての評価をいただき、文化総合センター大和田：さくらホールの開館記念演奏会でベートーヴェンの「交響曲第九」を歌いあげました。音楽を、歌を愛する人々が老若男女を問わず集う合唱団です。

●次回公演—2013年7月6日(土)
W. A. モーツァルト「リタニア」KV243
F. J. ハイドン「ナルモニー・ミサ」
<http://shibukon.com/>

三菱東京UFJ銀行合唱団

三菱銀行合唱団が本格的な活動を開始したのは1953年。1963年頃から「伝説の黄金期」を迎えましたが、その後、低迷期を経験しました。しかし、それでも1991年の第20回定期演奏会まで歴史を重ねてきました。1996年4月、東京銀行との合併により合唱団の人数が増えたタイミングで、水野克彦先生を指導者としてお迎えし、2006年の東京三菱銀行とUFJ銀行の合併により、さらに成長した合唱団として現在、活動を続けています。単独での「定期演奏会」と三菱グループ各社の合唱団合同での「三菱ダイヤモンドコンサート」を隔年で開催。昨年2月には銀行管弦楽団と銀行合併5周年記念の「第九」で共演。同年9月の第11回三菱ダイヤモンドコンサート、広上淳一先生指揮によるドヴォルザークの「スターバト・マテル」は感動のステージでした。

来年の定期演奏会では「マタイ受難曲」に挑戦します。職場合唱団としての結束の強さが自慢です。

●次回公演—2013年10月14日(月・祝)
J.S.バハ「マタイ受難曲」